

中世寺社と 国家・地域・史料

いなば のぶみち
稲葉伸道 編

▼A5判・上製函入・五三四頁 本体 二二、〇〇〇円十税

2017年5月刊行

中世寺社と国家・地域・史料
稲葉伸道編

法藏館

仏教が広くかつ深く浸透した中世における、国家と寺社、地域と寺社、寺社の組織と経営、史料と思想について、22名の執筆者が幅広く、実証的に論じた論文集。

III部 寺社の組織と経営

中世北野「社家」考

—「社家」と松梅院・公文所を中心に—
中世東寺長者の拝堂費用に関する覚書

(高橋菜月)

—大覚寺義昭の事例を中心に—

戦国期大坂本願寺における「齋」をめぐる中世近世移行期における法会・祈禱の支払手段

(古田功治)

—「舜旧記」の分析を中心に—

(川戸貴史)

IV部 史料と思想

関東御教書と得宗書状

『院秘抄』所載書札札に関する基礎的考察

(渡邊正男)

中世寺院における系図史料の存在とその理由

(青山幹哉)

—中世出雲国馬来氏の愛宕信仰—

(西島太郎)

顕如讓状考

(金龍 静)

—中世後期五山派の米西認識—

(斎藤夏来)

—中世の禅僧と因果の道理—

(池田文明)

◆編者紹介

一九五〇年生まれ。専攻は日本中世史。名古屋大学名誉教授。代表的な著書・論文に『中世寺院の権力構造(岩波書店、一九九七年)』、『後醍醐天皇親政期における王朝の寺社政策』(『年報中世史研究』40、二〇一五年)などがある。

【目次】

序文 国家と寺社

I部 国家と寺社
嘉応元年延暦寺強訴と後白河の「盛徳」
南北朝・室町期の門跡継承と安堵

(安原 功)

—延暦寺三門跡を中心に—
室町期の醍醐寺三宝院門跡と撰閑家

(稲葉伸道)
(水野智之)

室町・戦国期の神宮伝奏と神宮奉行職事

(飯田良一)

II部 地域と寺社

鎌倉期の東大寺領荘園と武士
—山城国玉井荘の下の職相論から—
荘園制成立期の物流と交易
畠山氏の領国支配と寺院

(生駒孝臣)
(小林保夫)

—可視聴化された守護権力—
大乘院北国定使と朝倉氏

(松山充宏)
(佐藤 圭)

戦国期における地域秩序の形成と地方寺社
—近江国甲賀郡を事例に—
起請文・契状にみる一宮

(服部光真)
(中島雄彦)

—戦国期の叡島社と毛利氏—
三河本願寺教団の再興過程についての一考察

(谷口 央)

| | |
|-------------------------------|----|
| 注文書 | |
| (書店印) | |
| ご担当 | 様冊 |
| 稲葉伸道編 | |
| 法藏館 | |
| 本体 二二、〇〇〇円十税 | |
| 住所 | |
| 電話 | |
| お名前 | |
| ISBN: 978-4-8318-6245-7 C3021 | |

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史 ・ 仏教史